

履歴書

2012 年 9 月 9 日現在



ふりがな		たぐち ともえ	
氏 名			
田口知枝			
出身地	年齢	※	
東京都東村山市	(満 29 歳)	男 ・ (女)	
参加した NICE ボランティア	分野		
国際ワークキャンプ 週末ワークキャンプ	子ども、福祉、環境		
場所	国際：フランス、フィリピン 2 回、ポーランド、韓国、日本（日の出 2 回、湯沢、平尾台、庄原、石川 2 回、高根） 週末：日の出（2 年間リーダー）、浜松、小山、飯田、東京港、つくば等		満足度
			100
受け入れ団体	IWO（韓国）、YES（フィリピン）、CONCORDIA（フランス）、SCI（ポーランド）、日の出（日の出太陽の家）、湯沢（湯沢福祉協議会）、石川（NPO グローバルユース・ラボ）		活動のやりがい度
			100

こんなボランティアでした
日の出：知的障がい者施設「日の出太陽の家」で利用者さん達と作業補佐（農業や工芸品作り等）と交流
湯沢：地域の知的障がい者施設作業補佐と交流／平尾台：子どもキャンプの運営／庄原：里山保全
フランス：村の公民館の改装作業／ポーランド：知的障がい者達が集団で住む小さな村で農業補佐
韓国：盲学校の夏休み期間中、規制できない子ども達と英語の演劇大会の練習と舞台作り
フィリピン：1 回目-日・韓・フィリピンの 10 代のユースキャンプ 環境学習、マングローブの植林
2 回目-ビーチの掃除、地元の人の意識改革、マングローブの植林

年齢	経歴
16 歳	初の国際ワークキャンプ（以下、WC）（日の出）に参加！制服を着てワーキャンに登場!?
17 歳	姉妹都市プログラムで米国ミズーリ州に 3 週間ホームステイ、国際 WC（日の出）に参加
18 歳	大学入学、夢描いていたような大学生活が送れず、退学を考えるが周囲の説得により断念
19 歳	国際 WC（湯沢、フランスは初の海外 WC）に参加、週末 WC「子ども竹林プロジェクト」初リーダー
20 歳	国際 WC（平尾台で初リーダー、高根、庄原）に参加、韓国の TFT に参加 2 年目の週末 WC リーダー、NICE 事務所でボラスタ生活、週末 WC 運営委員会に参加
21 歳	国際 WC（フィリピンでリーダー、石川でリーダー、ポーランド）に参加 韓国への交換留学が決まり、就活の代わりに韓国語の勉強に打ち込む
22 歳	国際 WC（フィリピン、韓国）に参加、韓国ソウルに 1 年間の交換留学
23 歳	韓国から帰国後、就職前の最後の国際 WC（石川で 2 回目のリーダー） 国立中央青少年の家で「30 日間セルフチャレンジキャンプ」にスタッフとして参加 韓国のマスコミ系会社に就職
24 歳	仕事に疲れ、1 人でグアムに逃避旅行。青い空と海を見ながら韓国で仕事をすると決意する。

25 歳	2 年間働いた会社を退職し、韓国に旅立つ。渡韓 1 ヶ月で韓国のオンラインゲーム会社に入社 「月 1・1 旅」を目標に韓国国内旅行を開始
26 歳	日韓交流団体「はなこりあ」でマネージャーとして活動、久々の 1 人旅でベトナムへ
27 歳	希望していた観光業界（政府系）に転職、取材とプライベートで旅三昧
28 歳	ミュージカルや演劇など文化生活を満喫、カメラを本格的に勉強、今さら韓流にはまる
29 歳	済州オルレの魅力に引かれて時間があれば済州へ ソウルで働く日本人のネットワークで人生の大先輩達に出会い、今後の人生について考え中
趣味・特技	趣味：旅行、カメラ、ハングル書道 特技：韓国語、何でもおいしく食べること
座右の銘	「一生勉強、一生青春」
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
幼い頃から知的障がいを持つ方達と触れ合う機会が多く、自然とボランティア活動をしていた。	

記入上の注意 1：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

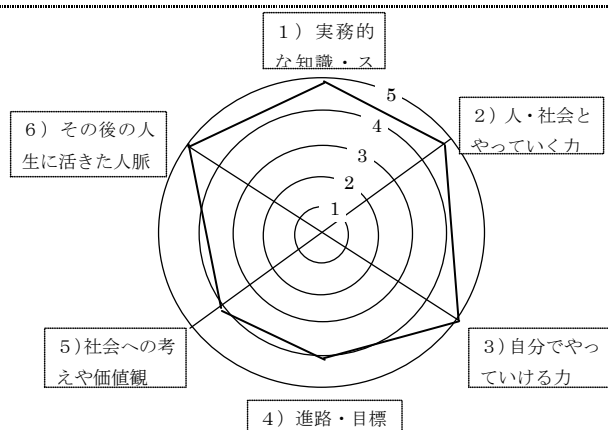
志望動機
<p>高校 1 年の夏休みにクラスの友達が海外短期留学に行く話を聞いて、私も英語に触れたい！という思いが強く、そんな時に国際WC（日の出）の開催を知り、日本にいながら外国人の友達と 2 週間一緒に過ごせるという魅力に引かれて参加を決めました。</p>

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
<p>正直、心配はそんなにありませんでした。あえて言えば、海外WCの場合に集合場所と時間にちゃんと行くことができるかどうか。渡航前、入国してから集合までリーダーとまめに連絡を取っていました。</p>

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した！）
<p>高校 1 年の時の初めてのWCは、受入側がよく知っている団体だったということもあり、心配もあつただろうが父親が送り出してくれました。大学 1 年の時の初海外WC（フランス）は、「英語語もろくにしゃべれないのに英語圏じゃない国に女の子 1 人で行くなんて絶対ダメ」と母親が大反対。3 ヶ月間、どうして海外のワークキャンプに行きたいのかを話して説得し、母親が折れてくれたが「旅に出た娘は死んだものとする」と断言された衝撃は今でも忘れません(笑)。その後はまったく反対もなく、どんどんと広い世界に出なさいと応援してくれました。</p>

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
<p>-いろいろな国の違う文化の人たちと出会ってきたことで、 自分の価値観にとらわれ過ぎずに、物事を見ることができるようになったと思います。未知のものに対する恐怖感よりも新しいものへの好奇心と挑戦心が強くなったと思います。</p> <p>-団体生活において相手のことを考えて行動することができるようになりました。ワークキャンプでは地域（の人たち）のニーズは何か、それに応えるためにはどうしたらいいのか、メンバーたちが有意義にワークをするためには・・・と常に考えていました。</p>

成長ダイアグラム ※



これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪

これまでたくさんのワークキャンプに参加してきましたが、同じワークキャンプはひとつもなくてどのワークキャンプも一生で一度の最高の時間です。地域（の人たち）のために、メンバーたちのために、自分のために暑い情熱を込めて全力で過ごした時間と思い出と出会った人たちは今でも大切な宝物です。世界の友達と一緒に一度の思い出を作りにぜひワークキャンプに参加してみてください！

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）